

関東甲信地方の3か月予報（3～5月）解説資料

平成24年2月23日
気象庁地球環境・海洋部

1. 予想される向こう3か月の天候

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と気温、降水量の確率は以下のとおりです。

3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

確率(%)	3～5月			3月			4月			5月		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高	低	並	高
気温	20	40	40	20	40	40	30	40	30	20	40	40
降水量	30	40	30	30	30	40	30	40	30	30	40	30
	少	並	多	少	並	多	少	並	多	少	並	多

参考資料：東京の平年の晴れの日と雨の日

平年の日数(日)	3月	4月	5月
晴れの日	17.2	17.1	15.5
雨の日	9.9	9.9	10.3

注) 季節予報では「日照率40%以上の日数」、「降水量1mm以上の日数」をそれぞれ晴れの日、雨の日の目安としています。日照率は1日の日照時間を可照時間(日の出から日の入りまでの時間)で割った値です(1981-2010年の統計値)。

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

数値予報による熱帯域の海面水温平年差の予想(図1)では、太平洋中・東部では赤道付近を除いて負偏差、太平洋西部では正偏差となっている。海面水温分布に対応して、ベンガル湾からフィリピンの東海上付近では対流活動(積乱雲の発生・発達など)が平年より活発となる影響で、日本付近を含む中緯度帯の高度場を上昇させると予想される(図2)。これらのことから、関東甲信地方では、予報期間を通して暖かい空気に覆われやすいと見込まれるため、3か月平均気温は高温傾向とした。また、3月はやや多雨傾向だが、南からの暖かく湿った空気が流入しにくい時期もある予想であることから、3か月平均降水量は傾向なしとした。

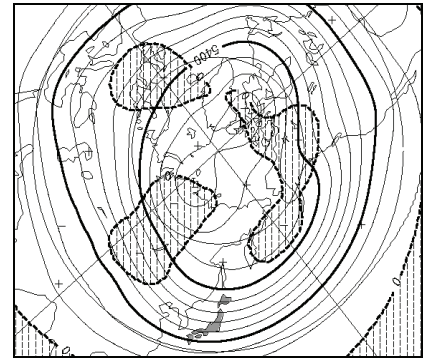


図2 500hPa高度場と平年差の予想
3～5月の3か月平均。等値線間隔は60m、偏差は30m。

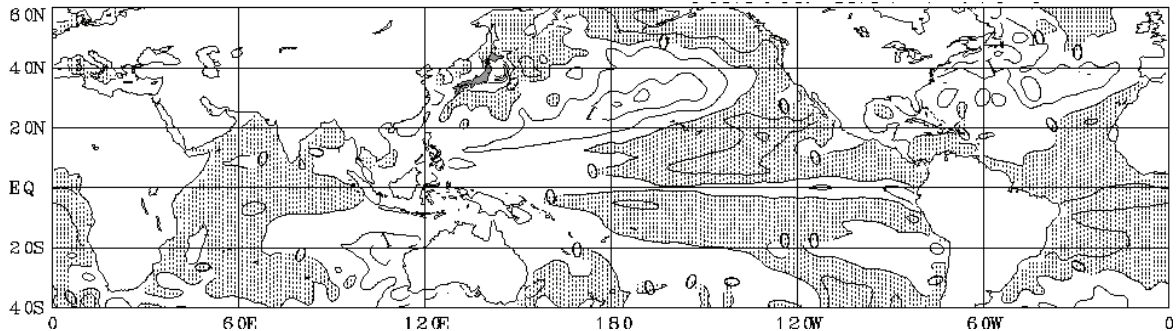


図1 海面水温平年差の予想図 3～5月の3か月平均。等値線間隔は0.5℃。負偏差に影。

3. 最近の天候

2月は冬型の気圧配置が強かったものの、日本海や日本の南海上を通過する低気圧の影響で雲の広がる日もあった。20日までの平均気温は強い寒気の影響で全域で平年を下回り(図3)、地域平均平年差は-1.2℃だった。降水量は平年を大きく上回る地点もあり(図4)、地域平均平年比は103%だった。日照時間はほとんどの地点で平年を下回り(図略)、地域平均平年比は91%だった。

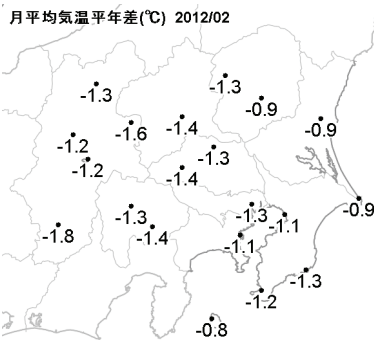


図3 2012年2月1～20日の平均気温平年差(℃)

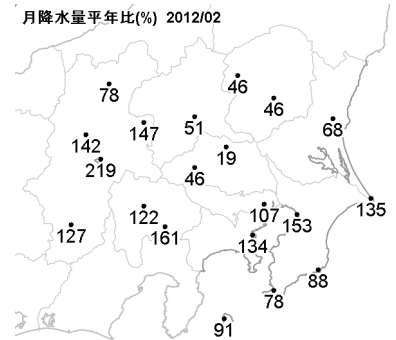


図4 2012年2月1～20日の降水量平年比(%)